

令和6(2024年度) 地理歴史科 教育指導計画

(1) 科目の配当・分担表

(必修 ◎, 選択必修 ○, 選択 △) (講師:*)

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
I	地理総合	◎	1	4	4	大満 秀一朗
I	歴史総合	◎	1	4	4	笹川 裕史
II	地理総合	◎	1	4	4	大満 秀一朗
II	歴史総合	◎	1	4	4	正垣 裕介
III	地理探究	○	3	2	6	大満 秀一朗
III	世界史探究	○	3	2	6	笹川 裕史
III	日本史探究	○	3	2	6	正垣 裕介

(2) 指導計画表

科目名：地理総合	学年：I	単位数：1	担当者名：大満 秀一郎
<p>1. 指導目標</p> <p>1. 現代世界の地理的認識を深めさせる。</p> <p>2. 系統地理的、地誌的な探求の方法を学習し、地理的な見方や考え方など地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>3. 現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養わせる</p> <p>4. GIS ソフトなどを活用して、空間的地理の認知能力を高めさせる。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置を分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>		<p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 地理的テーマに応じたコメントペーパーを作成する。</p> <p>(3) 小テストを用いて地理的事象の確認を行う。</p> <p>(4) 地理的事象を地図化するためオンラインGISを活用して地図の作成・分析・考察を行う。</p> <p>(5) クラスルームなどで適宜課題をレポートなどにまとめる。</p> <p>(6) 授業内におけるパフォーマンス課題の発表および成果のまとめ</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>定期考査や小テストを通じて、基本的地理的知識の習得ができてきているか確認する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>現代的な地理的問題に対して、レポートやGISソフトを活用した地図化などにより地理的課題に気付かせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>レポート課題、討論・発表、学習の振り返り、出席状況、ノート提出 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>(1 学期)</p> <p>地図と地理情報システム</p> <ul style="list-style-type: none">・地球上の位置 <p>結び付きを深める現代世界</p> <ul style="list-style-type: none">・現代世界の国家と領域・グローバル化が進む世界 <p>(2 学期)</p> <p>世界の地形と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none">・地形 <p>世界の気候と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none">・気候 <p>(3 学期)</p> <p>世界の気候と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none">・アジア圏の生活と文化・ヨーロッパ圏の生活と文化	
<p>使用教科書</p> <p>高等学校 新地理総合 (帝国書院)</p> <p>新詳 高等地図 (帝国書院)</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>新詳地理資料COMPLETE2024 (帝国書院)</p> <p>自作プリント・スライド</p>			

(2) 指導計画表

科目名：地理総合	学年：Ⅱ	単位数：1	担当者名：大満 秀一郎
<p>1. 指導目標</p> <p>1. 現代世界の地理的認識を深めさせる。</p> <p>2. 系統地理的、地誌的な探求の方法を学習し、地理的な見方や考え方など地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>3. 現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養わせる</p> <p>4. GIS ソフトなどを活用して、空間的地理の認知能力を高めさせる。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置を分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>		<p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 地理的テーマに応じたコメントペーパーを作成する。</p> <p>(3) 小テストを用いて地理的事象の確認を行う。</p> <p>(4) 地理的事象を地図化するためオンラインGISを活用して地図の作成・分析・考察を行う。</p> <p>(5) クラスルームなどで適宜課題をレポートなどにまとめる。</p> <p>(6) 授業内におけるパフォーマンス課題の発表および成果のまとめ</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>定期考査や小テストを通じて、基本的地理的知識の習得ができているか確認する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>現代的な地理的問題に対して、レポートやGISソフトを活用した地図化などにより地理的課題に気付かせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>レポート課題、討論・発表、学習の振り返り、出席状況、ノート提出 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。</p>	
<p>使用教科書</p> <p>高等学校 新地理総合 (帝国書院)</p> <p>新詳 高等地図 (帝国書院)</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>新詳地理資料COMPLETE2023 (帝国書院)</p> <p>自作プリント・スライド</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>(1 学期)</p> <p>世界の地形と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none">・地形世界の気候と人々の生活・アジア圏の生活と文化・ヨーロッパ圏の生活と文化 <p>(2 学期)</p> <p>地球的課題と国際協力</p> <ul style="list-style-type: none">・資源・エネルギーの問題・人口問題・食料問題 <p>(3 学期)</p> <p>地球的課題と国際協力</p> <ul style="list-style-type: none">・都市・居住問題 <p>生活圏の調査と地域の展望</p> <ul style="list-style-type: none">・生活圏の調査と地域の展望	

(2) 指導計画表

<p>科目名：地理探究</p>	<p>学年：Ⅲ</p>	<p>単位数：3</p>	<p>担当者名：大満 秀一郎</p>
<p>1. 指導目標 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>2. 評価観点 世界の諸事象の規則性や傾向性などを系統的に、世界の諸地域の構造や変容などを地誌的に考察した上で、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする学習過程を前提に、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題などを理解している。【知識・技能】</p> <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力、地理的な課題を把握して、解決に向けて学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて構想できる力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることから、グローバル化が進み、国際理解の必要性が増している現代における重要な資質・能力を身に付けている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>		<p>3. 指導方法 (1) 講義形式を主とする。 (2) 地理的テーマに応じたコメントペーパーを作成する。 (3) 小テストを用いて地理的事象の確認を行う。 (4) 地理的事象を地図化するためオンラインGISを活用して地図の作成・分析・考察を行う。 (5) クラスルームなどで適宜課題をレポートなどにまとめる。 (6) 授業内におけるパフォーマンス課題の発表および成果のまとめ</p> <p>4. 評価方法 【知識・技能】 定期考査や小テストを通じて、基本的地理的知識の習得ができていているか確認する。 【思考・判断・表現】 現代的な地理的問題に対して、レポートやGISソフトを活用した地図化などにより地理的課題に気付かせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポート課題、討論・発表、学習の振り返り、出席状況、ノート提出 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。</p> <p>5. 年間計画 (1 学期) 村落都市（村落・都市の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件についての理解をふまえ、近年の村落。都市の変化と課題について認識を深める。 農林水産業（農林水産業が、自然条件や社会条件により分布や発達にどのような傾向や規則性があるかを理解する。） エネルギー・鉱産資源（エネルギー・金属資源の重要性、問題点について多面的・多角的に考察する。） 工業（工業立地の特徴と近年の変化の動向について理解する）</p> <p>(2 学期) 第3次産業（流通産業の発達や消費者行動の変化、小売業立地の変化について理解する。） 貿易と経済圏（現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解する。） 地誌 (3 学期) 地誌</p>	
<p>使用教科書 新詳地理探究（帝国書院） 新詳 高等地図（帝国書院） 副教材・テキスト等 新詳地理資料COMPLETE2022（帝国書院） データブックオブザワールド2024（二宮書店） 自作プリント・スライド</p>		<p>エネルギー・鉱産資源（エネルギー・金属資源の重要性、問題点について多面的・多角的に考察する。） 工業（工業立地の特徴と近年の変化の動向について理解する）</p> <p>(2 学期) 第3次産業（流通産業の発達や消費者行動の変化、小売業立地の変化について理解する。） 貿易と経済圏（現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解する。） 地誌 (3 学期) 地誌</p>	

(2) 指導計画表

科目名：歴史総合	学年：I	単位数：1	担当者名：笹川 裕史
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none">・近現代の諸地域の様相を、グローバル＝ヒストリーの観点から理解させる。・ジェンダーの視点から歴史を見る目を養う。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none">・近現代の諸地域の様相を、国際理解という観点から理解できているかを見る。・歴史的事象を図版や史料（資料）を通して理解できているかを見る。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none">・授業プリントや図像・実物教材などを利用する。またワークシートを用いて歴史的思考力を養わせる。・教科通信を通じて学習内容をフィードバックする。 <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none">・定期考査の得点 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">・ワークシートの記述内容・定期考査の応用問題 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・提出物・出席状況や授業態度等	<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期前半・・・初期近代の世界と日本 (教育実習生の授業あり)</p> <p>1 学期後半・・・欧米諸国における近代化</p> <p>＜1 学 期 考 査＞</p> <p>2 学期前半・・・近代化の進展と国民国家形成 (教育実習生の授業あり)</p> <p>＜特別時間割期間の「レポート課題」＞</p> <p>2 学期後半・・・アジア諸国の動揺と日本の開国</p> <p>＜2 学 期 考 査＞</p> <p>3 学期・・・近代化が進む日本と東アジア</p> <p>＜課題図書レポート＞</p> <p>＜3 学 期 考 査＞</p>		
使用教科書： 帝国書院『明解 歴史総合』 副教材・テキスト等 帝国書院『明解歴史総合図説 シンフォニア 三訂版』			

(2) 指導計画表

科目名：世界史探究	学年：Ⅲ	単位数：3	担当者名：笹川 裕史
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none">各時代の諸地域を理解する際に、現代社会と関連づける。各時代の諸地域の様相を、異文化理解という観点から理解させる。 <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none">各時代の諸地域に関する基本的事象が理解できているかを見る。歴史的事象を図版や資料（資料）を通して理解できているかを見る。 <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none">授業プリントや図像・実物教材などを利用する。またワークシートを用いて歴史的思考力を養わせる。教科通信を通じて学習内容をフィードバックする。 <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none">定期考査の基本問題 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none">ワークシートの記述内容定期考査の応用問題 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none">提出物・出席状況や授業態度等		<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期前半・・・古代オリエント～ギリシア</p> <p>1 学期後半・・・古代ローマ時代・古代中国</p> <p>　　<1 学 期 考 査></p> <p>2 学期前半・・・隋唐時代～明清時代</p> <p>2 学期後半・・・中世ヨーロッパ世界</p> <p>　　<2 学 期 考 査></p> <p>3 学期・・・初期近代</p> <ul style="list-style-type: none">スーパーサタディ、および補充授業 （1 学期）古代南アジア世界 イスラーム世界 <p>（2 学期）未定</p>	
<p>使用教科書： 帝国書院『新詳 世界史探究』</p> <p>副教材・テキスト等 帝国書院『最新世界史図説 タペストリー 22訂版』</p>			

(2) 指導計画表

科目名：歴史総合	学年：2年	単位数：1	担当者名：正垣裕介
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マクロな、グローバル＝ヒストリーの観点から、近現代の歴史を概観して理解させる。 ・ミクロな、生活史の観点から歴史を体験する方法を身につけさせる。 ・モノの動きをとおして、マクロとミクロの歴史をつないで理解させる。 ・現代と比較しながら、自らの生活や社会の在り方の変化を考察できる思考力を養う。 ・変化の視点として「近代化」「国際秩序の変化と大衆化」「グローバル化」に注目し、歴史的な見方と方法論に基づいて考察したことがらを表現できる力を養う。 ・日本の近現代史を、世界史の観点から位置づけ理解したうえで、いま・ここに生きている自分と社会について考察する視点を身につけさせる。 <p>2. 評価観点</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本的な歴史事項と歴史事象の知識を理解できているか。 (2) 基本的な史料とデータに基づいて、論理的に思考し説明することができるか。 (3) 歴史的テーマについて、現代的な課題に引き付けて考察し、表現することができるか。 <p>3. 指導方法</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 講義形式を主とする。 (2) 授業ポートフォリオの作成。 (3) 少人数でのディスカッション。 (4) 主題に応じたエッセイやレポートの作成。 		<p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>定期考査を利用し、基本的な知識の獲得について基準に達しているか評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査や課題提出において、限られた字数の中で歴史的観点から論理的な論述ができているかを評価する。ポートフォリオとして用意した「学習の記録」用紙を評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜課すレポートで、現代的な主題に引き付けて歴史的な事象を解釈できているかを評価する。 ・授業への参加姿勢とフィードバックができているかを「学習の記録」で評価する。 ・ディスカッションへの参加とフィードバックワークシートを評価する。 ・授業に取り組む姿勢や出欠状況を考慮する <p>5. 年間計画</p> <p>(1学期) 日本の近代化と第一次世界大戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東アジア諸国の近代化と日清・日露戦争 2. 第一次世界大戦 <p>(2学期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 国際秩序の変化と大衆社会 4. 世界恐慌とファシズムの台頭 5. 満州事変から日中戦争 6. 第二次世界大戦 <p>(3学期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 戦後秩序と冷戦 8. 多極化・グローバル化する世界と日本 <p>探究学習の主題</p> <ol style="list-style-type: none"> A. メディアと戦争 B. 東アジアの近代の比較 C. 大衆社会と「アメリカ」 	
<p>使用教科書</p> <p>帝国書院『明解 歴史総合』</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>とくになし</p> <p>自作ワークシート</p>			

(2) 指導計画表

科目名： 日本史探究	学年： 3	単位数： 3	担当者名： 正垣 裕介
<p>1. 指導目標</p> <p>(1) 具体的な資料・史料を読み解きながら基本的な歴史的知識を習得し、さらに歴史的事象を概念化することで、歴史の大きな流れと時代の転換点を把握できるようにする。</p> <p>(2) 様々な国や地域の人々との交流の中で成立した日本の社会・文化を学習し、世界史の中の日本について認識することで、歴史的問いを発見し、現代的な問いに結び付けて理解できるようにする。</p> <p>(3) 歴史的思考力を養うための方法論を身に付け、歴史学的手続き論理に基づいて時代を解釈し、概念化できるようにする。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>(1) 基本的な歴史事項と歴史事象の知識を理解できているか。</p> <p>(2) 基本的な史料とデータに基づいて、論理的に思考し説明することができるか。</p> <p>(3) 歴史的テーマについて、自ら概念化して考察し、表現することができるか。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 主題に応じたレポートを作成させる。</p> <p>(3) 歴史的知識と思考方法に基づいた論述の指導。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】 定期考査を利用して、基本的な知識の習得と史料の読み取りの技能について基準に達しているかを評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査や課題提出において、限られた字数の中で歴史的観点から論理的な論述ができているかを評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none">・適宜課すレポートで、自ら歴史的問いを設定し、歴史的事象を解釈できているかを評価する。・授業に取り組む姿勢や出欠・遅刻状況を考慮する。	<p>5. 年間計画</p> <p>(1 学期) 古代・中世の日本と東アジア</p> <ol style="list-style-type: none">1. ヤマト政権の成立と古墳文化2. 律令国家の形成3. 古代の国家・社会の変容4. 荘園公領制の成立と院政5. 中世の国家・社会の展開と変容 <p>(2 学期) 中世・近世の日本と世界</p> <ol style="list-style-type: none">6. 東アジア社会の変容と天下統一7. 幕藩体制の展開と近世の文化8. 近世の国家・社会の変容9. 近代国家の成立 <p>(3 学期) 日本の近代と戦争</p> <ol style="list-style-type: none">10. 近代日本の国家・社会と戦争11. グローバル化の中の現代日本 <p>探究学習の主題</p> <ol style="list-style-type: none">A. 民俗・宗教とは何か（歴史事象の調査）B. 国家とは何か（歴史事象の概念化）C. 大衆社会とは何か（歴史の解釈・説明の方法）		
<p>使用教科書： 日本史探究（実教出版）</p> <p>副教材・テキスト等 日本史のライブラリー（とうほう） 詳述 日本史史料集（実教出版） ワークシート（自作プリント）</p>			